

## 新型コロナ 感染再拡大に十分な備えを G7関連閣僚会議誘致を 大阪・関西万博に向け

令和3年9月定例会 公明党代表質問より

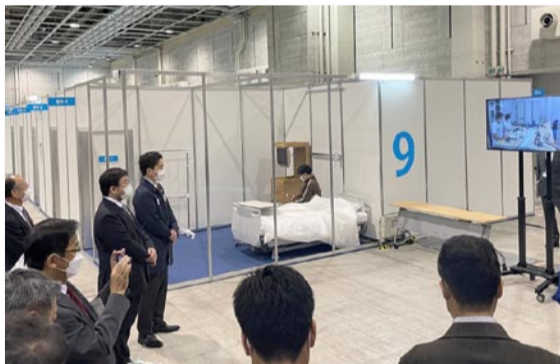
令和3年9月29日から12月17日までの令和3年9月定例会で、公明党大阪府議会議員団は府政の諸課題に対し、府民の立場から議論を展開しました。10月6日には加治木一彦議員（政調会長、大阪市淀川区選出）が代表質問に立ち、新型コロナウイルス感染症対策や2025年大阪・関西万博の機運醸成などについて質疑・質問をしました。概要は以下の通りです。



▲代表質問する加治木府議

### 大規模療養施設 感染者の受け入れ能力を拡大

新型コロナ感染拡大の第5波で軽症・中等症病床がひっ迫し、自宅療養者が増えたことを踏まえ、新たな感染拡大に備え医療・療養体制の充実確保を求めました。府は確保済みの病床や宿泊療養施設に加え、臨時の医療施設としてインテックス大阪（大阪市住之江区）に1000床規模の「大規模医療・療養センター」を設置し、家庭内感染や自宅での症状急変を防ぐ、と答えました。



▲大規模医療・療養センターで説明を聴取

### 万博PRの好機に 環境相や財務相会議を念頭

大阪・関西万博の成功に向け、世界の目を集める手段として大型の国際会議を誘致すべきと指摘。2023年には主要7か国首脳会議（G7サミット）と関係閣僚会議が日本で開催される予定でもあり、万博のテーマ、SDGsとの親和性の高い環境相会議や国際金融都市への弾みとする財務相会議などを提示しました。府はG20サミットを開催した経験を生かし、経済界などと調整して閣僚会議の誘致に努力する、と答えました。

12月1日には吉村洋文大阪府知事と永藤英機堺市長が共同で関係閣僚会議の誘致を表明、改めて万博を世界にアピールし、成功に弾みをつけるとしました。

### 交流の機会づくりを 関西市町村と万博参加国で

2005年「愛・地球博」の際、愛知県内の市町村が万博の公式参加国を温かく迎え、地域ぐるみで盛り上げる「一市町村一国外交」がありました。人口1400人の村から交流相手国のナショナルデー当日に300人が万博会場に駆け付けた、幼稚園児が相手国の愛唱歌に合わせてダンスを披露した、など多様な事例があり、ぜひ大阪・関西万博でも関西の市町村と公式参加国の交流の機会をつくるべき、と指摘しました。

11月18日の関西広域連合議会でも八重樫善幸議員（豊中市選出）が仁坂吉伸広域連合長（和歌山県知事）に同様の提案をしました。

### 生理用品を無償で提供 ドーンセンターや府立学校で

・討論より・



▲女性のためのコミュニティスペース（ドーンセンター内）

コロナ禍で困難を抱える女性への支援の一つとして、生理用品の購入が難しい「生理の貧困」問題を取り上げました。府議会での質問や知事への政策要望でたびたび防災備蓄品を活用し、府立学校に生理用品を置くことなどを求めました。公明党府議団の要望を受け、ドーンセンター（大阪市中央区）の「女性のためのコミュニティスペース」や全府立学校で生理用品の無償配布が始まっています。

公明党大阪府議会議員団ホームページはこちら。  
▶ <http://www.komei-fu.com>

